

謹んで新春のご祝詞を申し上げます
旧年中は大変お世話になりました
本年もどうぞよろしく願い申し上げます

三井記念美術館は、2005年に中野区の三井文庫別館を現在の日本橋に移転し、本格的な美術館として開館いたしました。日本橋は三井家創業の地であり、三井グループ各社に縁の深いいわば基地であります。そして、開館以来コンセプトにしております「東洋と日本の伝統的な造形と用の美」を柱に、今年も活発な美術館活動を展開し、高い芸術性と文化を発信してまいります。

昨年4月には、NHK大河ドラマに関連した特別展「どうする家康」、6月からは越後屋開業350年記念特別展「三井高利と越後屋」、さらに9月からは特別展「超絶技巧、未来へ！」と、3回の特別展を開催いたしました。

本年は、現在開催している「国宝 雪松図と能面×能の意匠」展につづき、2月には恒例の「三井家のおひなさま」展、そして新年度の4月からは「茶の湯の美学—利休・織部・遠州の茶道具—」展、7月には「美術の遊びとところろⅧ 五感であじわう日本の美術」展、そして9月には特別展「文明の十字路 バーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰—ガンダーラから日本へ—」を開催いたします。

三井記念美術館は、江戸時代以降三井家が収集した質の高い美術品を多数伝えており、開館以来これらの作品を広く公開するとともに、今後も様々なテーマの特別展を開催し、開かれた美術館を目指してまいります。

令和6年元旦

三井記念美術館
館長 清水真澄